

R8.6.2 第1回市民ワークショップ<つるおか未来カフェ> (まとめ)

目 的

- ・ 総合計画後期基本計画の市民へ普及・啓発を図るとともに、市民との協働により推進し、今後のまちづくりや一つひとつの取組に市民の意見を反映するため、市民ワークショップを開催するもの
- ・ 次代を担う若者・学生の意見やアイディア等を聞くために、櫛引中学校の生徒を対象に実施

開催概要

日 時：令和8年6月2日（火）9時35分から12時25分

場 所：鶴岡市立 櫛引中学校

参加者：櫛引中学校 3年生 46名

内 容：5つのグループに分かれ、総合計画後期基本計画に関連したテーマについて、「まちづくりのために何が必要か」という視点から意見を出し合い、グループ討論・グループ発表を行う

その他：班ごとのファシリテーターとして、東北公益文科大学の「地域共創コーディネーター養成講座」を修了した市職員等を配置



R8.6.2 第1回市民ワークショップ<つるおか未来カフェ>(まとめ)

意見概要

タイトル：子育て環境の充実

- ・食文化や特産品を活かした給食・イベントの充実、お祭りの増加など、子どもが豊かに学べる体験の場を創出する。
- ・飲食店や駄菓子屋、学習・交流スペースなどで空き家を活用する。
- ・バス通学への支援や櫛引の巡回バス、タクシーを含めた公共交通機関の増便など、移動手段の利便性向上させる。
- ・大型遊具のある公園や自然を活かしたアスレチックなど、子どもの屋外活動が増やせ、気軽に遊べる居場所を整備する。
- ・子どもがうれしい、親がうれしい、家族がうれしい、と感じられる上記のような取り組みが必要。

タイトル：若者の地元回帰と人口流出の防止

- ・地元就職者や移住者への支援金、ガソリン代や資格取得への助成のほか、夏休み限定バスなど移動手段を充実させる。
- ・若者の関心が高い業種の拡大と、地域における就業機会の確保。
- ・幅広い世代を惹きつける娯楽施設や、体験型イベント（フルーツ狩りや音楽ライブなど）の企画による交流人口の拡大。
- ・空き家を活かしたカフェやコンビニなどの商業施設を誘致して生活利便性を高めつつ、住みやすい環境を整備する。
- ・SNSなどを活用した地域の魅力発信と、来訪者による情報発信を促す仕組みづくり。

タイトル：外国人も日本人も住みやすい町～お互いを認め合い尊重し合える町～

- ・映えスポットや、だだちゃ豆などの食文化や文化行事をSNSや動画で世界へ発信し、魅力を伝えて新たな外国人を呼び込む。
- ・多言語の看板やパンフレットの作成、生活相談窓口や語学学習の場を設けるほか、多国籍店を増やすことで外国人が住みやすい環境をつくる。
- ・食文化や伝統芸能の体験、ボランティアやスポーツ大会などのイベントを通じ、地域住民と外国人が触れ合う場を創出。
- ・ALTの増員や言語の学習、クイズや落語を通じた楽しい日本語習得など、互いの言葉を学び壁をなくす工夫が必要。
- ・寮の整備など労働環境を整え、少子高齢化に伴う労働力不足を補う多様な人材が活躍できる職場づくりを進める。

タイトル：産業振興～鶴岡を耕す！～

- ・マスコットキャラの活用や全国の給食への食材提供、SNS配信や地元企業の魅力アピール等で、市外から人を呼び込む。
- ・フルーツ狩りや食べ比べ、水族館ツアー、スタンプラリーや釣り大会など、地域の特色や果物の魅力を県外へ伝えるイベントの開催が重要。
- ・農業体験やイベント開催、ドローン・AIの導入による負担軽減のほか、費用面のサポートで次世代の担い手を確保する。

タイトル：交流人口の増加

- ・フォトスポットやアドベンチャー施設、赤川花火での果物PR、水族館のイベントやライブ会場など、自然や特色を活かして人を呼び込む取り組みが必要。
- ・山添高校のような空き家や跡地を活用し、商業施設・カフェ、大型モールや専門店、アミューズメント施設、フルーツランドの誘致など、滞在を楽しめる多様な拠点を整備する。
- ・高速道路のスマートIC設置、デマンドタクシーや路面電車の導入、急患対応の病院など、来訪者も住民も移動しやすく安全な社会インフラを整備。